

を與へられ、續いて庶務課山崎氏は争議に関する感想を述べられ、午後同じく三庄工場に於て所員資格者に対し、笹子工場長、竹内主事兼事務部長、西牧造機部長の訓示並に感想、及び山崎氏の最近我國労働運動に対する所感等ありて大いに感動せしむる所ありき。

本日午後四時頃、検事及び判事の一行は争議団本部及び各支部の家宅捜索を行はれし由なり。

此日争議団幹部近藤武市は尾道検事局へ送りなりと言ふ。午後四時二分御調郡長栗屋仙吉氏来場せられたり。午後四時七分向井尾道市長外一名来場せられたり。

争議団に於ては本日出勤したる資格者より工場状況を聴取し、尚小学児童休校問題に依りて、大阪聯合会理事金政米吉外数名、因島警察分署へ拘引せられたる旨を報じ、官憲の圧迫日一日峻厳を加へ来るを以て、吾等はかかる事に僻易する事なく、一層の団結を鞏固にすべき事を協議せり。

尚本日出勤し、其後八時迄の普通職工は退場後、争議団の詰問を受け、明二十一日より出勤せざる事、争議解決迄、争議団の行動と共にすべき事を誓ひたりと報告せり。

然れども大勢は既に定まり、争議団幹部、支部長杉原喜代美、其弟静馬、聯合会理事金政米吉、近藤武市、藤原信高、遠藤一志、田中長作、其他応援団の重なる者を失ひて殆んど総同盟幹部全滅の狀態に陥るに到れり。

一方三庄資格者五十五名は当日より一般職工の出勤を促す事に決議せり。

二十一日、局面紛糾混乱益々深刻となり、司法権の発動は愈々拡大、峻厳となり、先に拘引取調中より、争議団幹部金政米吉、杉原喜代美、田中長作、清水某等、本日午後一時三十分終生乃至、廣島地方裁判所尾道支部に送致せらる。一方争議団幹部及び関係者續々因島分署に喚問取調べを受け、工場より、笹子工場長、山崎庶務課長喚問せらる。等、因島分署空前の大多忙を極め、一方尾道支部、柳田豫審判事並書記一名は午前十一時五分入場せられ、種々入場職工に就き訊問せらる。処あり。午後四時三十分退場せらる。等。